

## ユネスコ世界遺産リスト登録候補 ポローニャのポルティコ群 Traduzione di Haruka Arakawa

ポローニャのポルティコ群は、9世紀にわたる歴史の中で築き上げられた様々なポルティコ（柱廊）の道が集まる極めて珍しい土地として、世界遺産候補に名を挙げました。これは、都市計画法制度による比類のない成果であり、特殊な形でポルティコ建築が発展することとなりました。誕生当初から現在に至ってもポルティコは私有地であると同時に公共スペースとして使われており、屋根付きの空間として共同体の利益となる、その社会的側面が特徴的です。そのためポルティコは、ポローニャ市民を始め、ポローニャを訪れる人々にとって、今日に至るまでこの町の重要なシンボルとされてきました。

ポルティコは何世紀もの間に起きたポローニャの町の変遷に密に関わり、それを証言する建造物として特異な遺産なのです。すなわち、ポローニャのポルティコ網はこの町特有のシンボルであり、時代や建築様式、社会的側面、都市機能の全く異なるものが隣接しあっています。

42キロに渡るポローニャのポルティコの中でも特に特徴的な12ヶ所が候補に選ばれました。それらはポルティコ全体を代表するもので、様々な年代、建築様式、技術的特徴、都市・社会機能のものが含まれています。

### 基準：

(ii)公共の場として使われる私有地であるポルティコは、いつでも、どんな天候においても社会生活・交際・交流に適した空間であり、ポローニャにおいて異例の発展を遂げました。

多文化で国際的、多民族が交流する場であり、表現、出会い、論争の場でもあります。ポローニャはポルティコ建築を世界中に広めた土地であり、知識伝播に大きく貢献してきたポローニャ大学でも知られています。

特にポルティコ建築は世界における都市生活様式の模範の一つとなりました。勉強または旅行でポローニャを訪れた数多くの建築家、画家、彫刻家、芸術家達が、この町のポルティコならではの活気ある空気を吸い、ポルティコにインスピレーションを得た作品を作り、ポルティコで活動し、あらゆる時代にこの独特の建造物の存在をイタリア中、世界中に広めてきました。

(iv)旧市街および新市街を通るポルティコの中から選ばれたポローニャのポルティコ群は、時代ごとの町の変化や発展を通して現代にまで残る、広く普及した古来の建築様式の代表的な存在です。

ポルティコ群には労働者階級の住居から貴族の屋敷、公共施設から教会施設まで、多種多様なポルティコ付き建造物が見られます。これらの建造物は12世紀から現代にかけて発展し、町の拡大や変化に従って多様な建材や様式が用いられています。

1-サンタ・カテリーナのポルティコ通り - 中世に発展した庶民の住宅街。稀少な木造建築が現在も残っています。

2- **セント・ステファノ広場** - ルネッサンス時代のポルティコ広場。ファザード（建物正面）に彫刻装飾が施された、町を代表する立派な建造物が並びます。

3- **バラッカーノのポルティコ** - ポルティコの道は同名の教会につながっています。教会も側面にポルティコがあり、ボローニャでは類を見ない素晴らしい景観を生み出しています。

4- **ガッリエラのポルティコ通り** - 町の中心への入り口となっていた、ローマ時代の南北に走る幹線道路であった通り。

5- **パヴァリオネとマッジョーレ広場の商業施設のポルティコ** - 古くから商業活動が行われている、町の中心部のポルティコ付き広場。

6- **サン・ルーカの巡礼のポルティコ** - グアルディアの丘の上の聖母マリア聖堂に続く18世紀のポルティコ通り。町から丘の頂上への勾配に合わせる必要性から、当時の最新の技術が駆使されています。

7- **ザンポーニ通りの大学のポルティコ** - 文化の中心地区に生まれたポルティコ通り。1700年代に再建された際に、古来の建築様式に従って建てられたものです。

8- **チェルトーザのポルティコ** - 1800年代初旬、チェルトーザが公営墓地に改装された際に建てられた長いポルティコ通り。

9- **カヴール広場とファリーニ通りのポルティコ** - 市民や自治体の行事に使われる市民広場。装飾と緑が際立っています。

10- **バルカ区のポルティコ建造物** - 戦後、町が拡大した際に、庶民が住む郊外地区に鉄筋コンクリートのピロティとして生まれたものです。

11- **Mambo（ボローニャ近代美術館）のポルティコ付き建造物** - 産業革命後に建てられた20世紀のポルティコ建造物。元は公営パン工場のあった場所で、現在は公共文化施設。建築様式としてはアーチとアーキトレーブが交互に並ぶのが特徴です。

12- **マッジョーレ通りの凱旋ポルティコ** - 古代のエミリア街道の一部であるポルティコ通りで、ボローニャの中心地へのメインの入り口でもあります。この通りのポルティコには町の変遷が表れています。

ユネスコ遺産候補はボローニャ市が下記の協力を得て推進：エミリア・ロマーニャ州、ボローニャ大都市（Città Metropolitana di Bologna）、文化財・文化活動省、ボローニャ大学、ボローニャ司教区、サン・ルーカポルティコ修復委員会、ボローニャ・ラヴェンナデルモンテ基金、Carisbo基金、ボローニャ商工手工業農業会議所、イタリア銀行、ACER-Azienda Casa Emilia Romagna、ボローニャカラビニエリ県司令部、Bologna Welcome

